

高知県立消費生活センター

# 地域見守り情報



第115号

## 「一人暮らしですか？」不審な電話に注意！

消防署などの公的機関を名乗って、「一人暮らしかどうか」を確認する不審な電話に関する相談が寄せられています。個人情報聞き出すため、防災や統計の調査を装うなど手口は様々ですが、その多くは、高齢者を狙ったものです。不審な電話がかかってきた場合は、ご自分やご家族の情報を話さないように注意してください。

### 【事例①】

消防署を名乗り、「市町村役場から独居高齢者名簿の提供を受け、災害時等に備え連絡している」と電話があった。「同居人がいる」と答えると、電話を代わるように求められた。これ以上話したくないと思い電話を切ったが、その後も電話がかかってくる。

(相談者 70代 女性)

### 【事例②】

公的機関を名乗る者から、一人暮らしであるかどうかを確認する電話を母親が受けた。電話の相手は、家族の名前を知っており、名前を確認された。母が、一緒に暮らしている者がいることを伝えると、一方的に電話を切られた。

(当事者 80代 女性)

### アドバイス

- 1、電話で「一人暮らしかどうか」や「年齢」「家族構成」等の個人情報を尋ねられても答えないようにしましょう。
- 2、公的機関を名乗る電話を受けた場合でも、少しでも怪しいと感じたら、電話を切ってください。必要なら、電話帳などに記載されている連絡先に確認するようにしましょう。
- 3、トラブルを避けるためには、電話機の番号表示機能や留守番機能を活用し、知らない番号には出ないようにすることも効果的です。
- 4、心配なときは、3桁の番号188（いやや）にダイヤルすれば、お近くの消費生活センターか市町村の消費生活相談窓口につながりますので、ご相談ください。



©KANAGAWA2013

☎ 高知県立消費生活センター 088-824-0999